

飛距離アップをサポートするゴルフウェア “ドライブ・ボディ・フォーム”を「23区スポーツ」から9月4日(土)に発売!

株式会社オンワード樫山 第一事業部門(部門担当 取締役常務執行役員 碓氷 貴男)は、京都大学大学院人間・環境学研究科教授の森谷敏夫氏とプロゴルファーの永井延宏氏の協力により、飛距離アップのための理想的なフォームをサポートするゴルフウェア“ドライブ・ボディ・フォーム(Drive Body Form)”を開発。当社ゴルフウェアブランド「23区スポーツ」に採用し、全国有名百貨店で9月4日(土)から発売します。

昨今のスポーツウェア市場は、吸汗速乾や保温効果などの機能性に加え、着用するだけで、運動効率を上げるウェアや、筋肉の疲労を軽減させるウェアなどの“高機能ウェア”が注目されています。このような背景を踏まえ、当社では、ゴルフウェアにおいても、少しでもうまくなりたい、少しでも遠くへ飛ばしたいというゴルファーの要望に応えるために、京都大学大学院人間・環境学研究科教授の森谷敏夫氏の人間工学理論と、プロゴルファーの永井延宏氏のスイング理論をベースに、オンワード樫山の技術力を結集して、ゴルフの飛距離アップをサポートするウェア“ドライブ・ボディ・フォーム”を開発しました。

“ドライブ・ボディ・フォーム”は、様々な箇所に高収縮糸を採用し、筋肉などの動きを抑えて飛距離アップのための理想的なフォームに近づけます。開発実験では、飛距離が平均3ヤードアップし、中には15ヤード以上飛距離がアップするケースもありました。9月4日(土)より「23区スポーツ」のインナー、カットソー、パンツのアイテムに採用し、順次発売します。

■“ドライブ・ボディ・フォーム”の商品ポイント

ベース素材は、フィット感のあるノンストレス素材を使用。サポート素材は、高収縮糸をハイゲージで編むことにより、伸びにくく、筋肉をサポートする役目を果たしています。

- (1) テイクバック(腕を後ろに引く動作)する時に上体が浮き上がらないようにサポート
- (2) 切り返しからインパクトまでの間、腕が振り遅れないようにサポート
- (3) アドレスからフィニッシュまでの間、体がゆるまないようにサポート
- (4) インパクト時に前傾姿勢を保てるようにサポート
- (5) スウェー(体のゆれ)するのを避けるために股関節を固定させ左右に軸がぶれないようサポート
- (6) テイクバックする時に体全体が伸び上がらないようにサポート

また、9月4日(土)から9月26日(日)まで“ドライブ・ボディ・フォーム”デビューフェアを「23区スポーツ」の主要店舗において開催。DM、カタログの配布、店頭POPの設置などで、分かりやすく商品を紹介し、認知度アップと売上拡大を目指します。

■商品名	Drive Body Form (ドライブ・ボディ・フォーム)
■展開ブランド	23区スポーツ(メンズウェア)
■発売日	9月4日(土)

■アイテム別プライスリスト

アイテム	価格帯
ポロシャツ	¥13,650～¥16,800
インナー	¥12,600～¥13,650
パンツ	¥14,700～¥19,950

(税込価格)

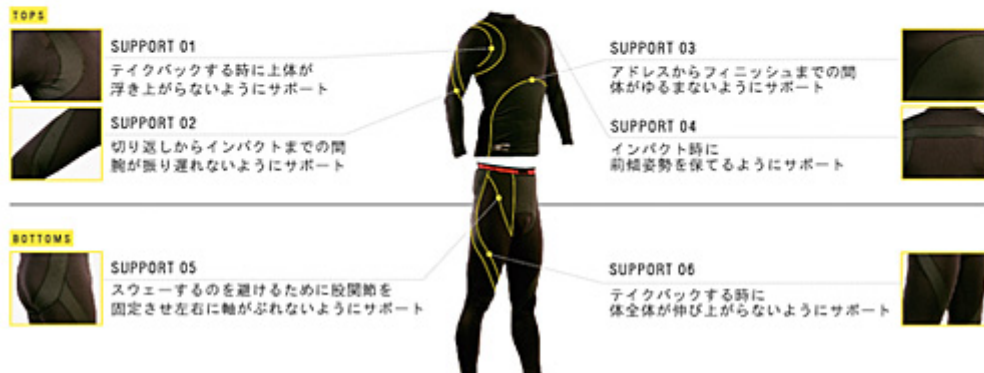
■サイズ展開

ポロシャツ/パンツ S、M、L、XL
 インナー トップス 8サイズ
 インナー ボトムス 5サイズ

■2010年秋冬商品写真(一例)



飛距離アップのために、パワーを最大限に引き出し、体を正しく使えるようにサポートする。



■プロフィール



森谷敏夫(もりたに としお)

京都大学大学院人間・環境学研究科
 応用生理学研究室 教授

1950年、兵庫県生まれ 南カリフォルニア大学大学院博士課程を修了(スポーツ医学、Ph. D.)。テキサス大学、テキサス農工大学大学院助教授、京都大学教養部助教授、カロリンスカ医学研究所国際研究員 (スウェーデン政府給費留学)、米国モンタナ大学生命科学部客員教授などを経て、1992年、京都大学大学院人間・科学研究課助教授、2000年より現職。専門は応用生理学とスポーツ医学。生活習慣病を予防するための運動の重要性を説き、有酸素運動を推奨している。

「ドライブ・ボディ・フォーム」の開発において、筋肉理論、血流理論に基づいた、科学的、人間工学的視点から、研究、分析、検証を行っていただきました。



永井延宏(ながい のぶひろ)

プロゴルファー

1969年、埼玉県生まれ 日本大学出身。ツアープロのコーチング経験と多くのアマチュアゴルファーの悩みを解決。分かりやすいスイング理論で2008年レッスンオブザイヤー受賞。アメリカゴルフ留学を経て大学やスクールのコーチを歴任。海外でのコーチング経験の後、2004年に帰国。

「ドライブ・ボディ・フォーム」の開発において、ツアープロのコーチング経験などを基にしたスイング理論を反映させるための分析、実験、検証を行っていただきました。

[▲ページTOPへ](#)